



地域学校協働活動の手引き

地 域



保護者

学 校

東っ子サポートステーション

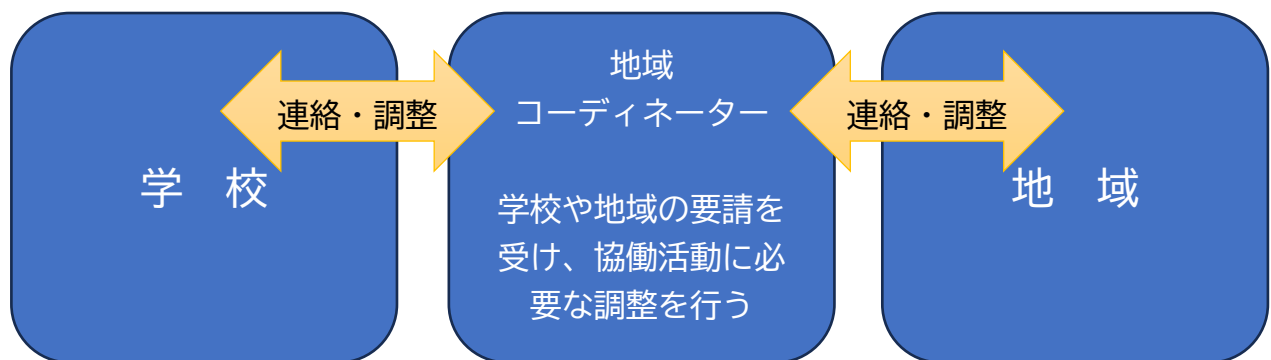
【知立東小学校区 地域学校協働本部】

地域学校協働活動について

【地域学校協働活動とは】

地域学校協働活動とは、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えること、「学校を核とした地域づくり」をすることを目指した活動です。そのため、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、各種団体・機関などの幅広い地域住民等の参画を得て、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働することが求められます。そこで、以前より地域や学校で行われてきた様々な活動に、コーディネート機能を加え、多様な活動を継続的に行うことができるようにします。

例としては、学校の環境整備や登下校時の見守り、地域の清掃活動や各種イベントへの参画など、社会の変化に対応しながら地域と学校が協働して活動を進めることにより、地域の方々の経験やその技術を生かす場にもなったり、活動を通して人とのつながりも生まれたりして、地域の教育力も向上すると考えます。



【地域学校協働活動に参画するときの大切な理念】

できる人が、できるときに、できることを行う

持続可能な活動を行うためには、学校も地域も無理をしてはいけません。「できることは協力する、できないことはできない」と、お互いに言える関係性が大切です。また、毎年、同じ活動をするのではなく、活動後、振り返りを行い、改善すべきことは改善しながら、学校と地域がコーディネーターを介して連携し、地域の子どもたちの成長を支えていく体制づくりが必要となります。

また、知立東小学校区は、学区が小さくコンパクトです。他の小学校区と比べて、外国にルーツのある方々が多く住んでいるため、日常的に多文化に触れ、様々な経験ができます。そんな素晴らしい学区の子どもたちの成長を、国籍に関係なく学区にお住まいのすべての方に、それぞれのお立場でサポートしていただけるようになるのが理想です。

【地域学校協働活動を通して育成したい子ども】

多文化共生社会をたくましく生きる子ども

○授業や学校行事、地域行事などを通して、子どもを学校と地域と一緒に育てること

- ・多様な他者と協力できる子【なかよく】
- ・自分の道を切りひらく子【つよく】
- ・自分に自信をもつことができる子【こんきよく】

○学校、地域の強みを生かした教育活動を行うこと

- ・きめ細やかな指導、支援ができる
- ・多様な文化や価値観に触れることができる
- ・地域の方々と協働的な活動ができる
- ・学校と地域が一体となって子どもたちを見守ることができる



【地域学校協働活動の期待される効果（一例として）は】

○子どもたちにとって

- ・地域の方々との交流により、コミュニケーション力や社会性が育ちます
- ・様々な経験ができる場が増え、子どもたちの学習に対する興味関心が高まります
- ・自分の周りの人への感謝の気持ちが芽生え、地域への愛着が深まります



○地域にとって

- ・学校外でも子どもたちとあいさつをしたり、言葉を交わしたりするようになり、元気がもらえます
- ・地域の方々同士と一緒に活動する機会が増えることで、知り合いが増え、生きがいづくりになります
- ・地域の課題解決に向けた取組や災害時の対応に、学校と地域が一体となって取り組むことができます



○学校にとって

- ・地域の方々と顔見知りになることで、通学路の安全性が高まります
- ・地域の方々に協力してもらい、学校の環境整備が進み、子どもたちの学習環境が整えられます
- ・教職員が子どもたちと向き合う時間の確保につながります



【地域学校協働活動に参加する前に】

地域学校協働活動に参加する方を学校協働ボランティア（東っ子サポーター）と呼びます。地域の子どもたちのために何かしたい、子どもたちを温かく見守りたいというお気持ちさえあれば大丈夫です。保護者の方はもちろん、地域にお住まいの方であれば学生さんもOKです。

また、知立東小学校は、外国にルーツのある子どもたちがたくさんいますので、授業中に補助員（教員免許不要）として、日本語や母語で子どもたちの学習をサポートしていただける方も大歓迎です。

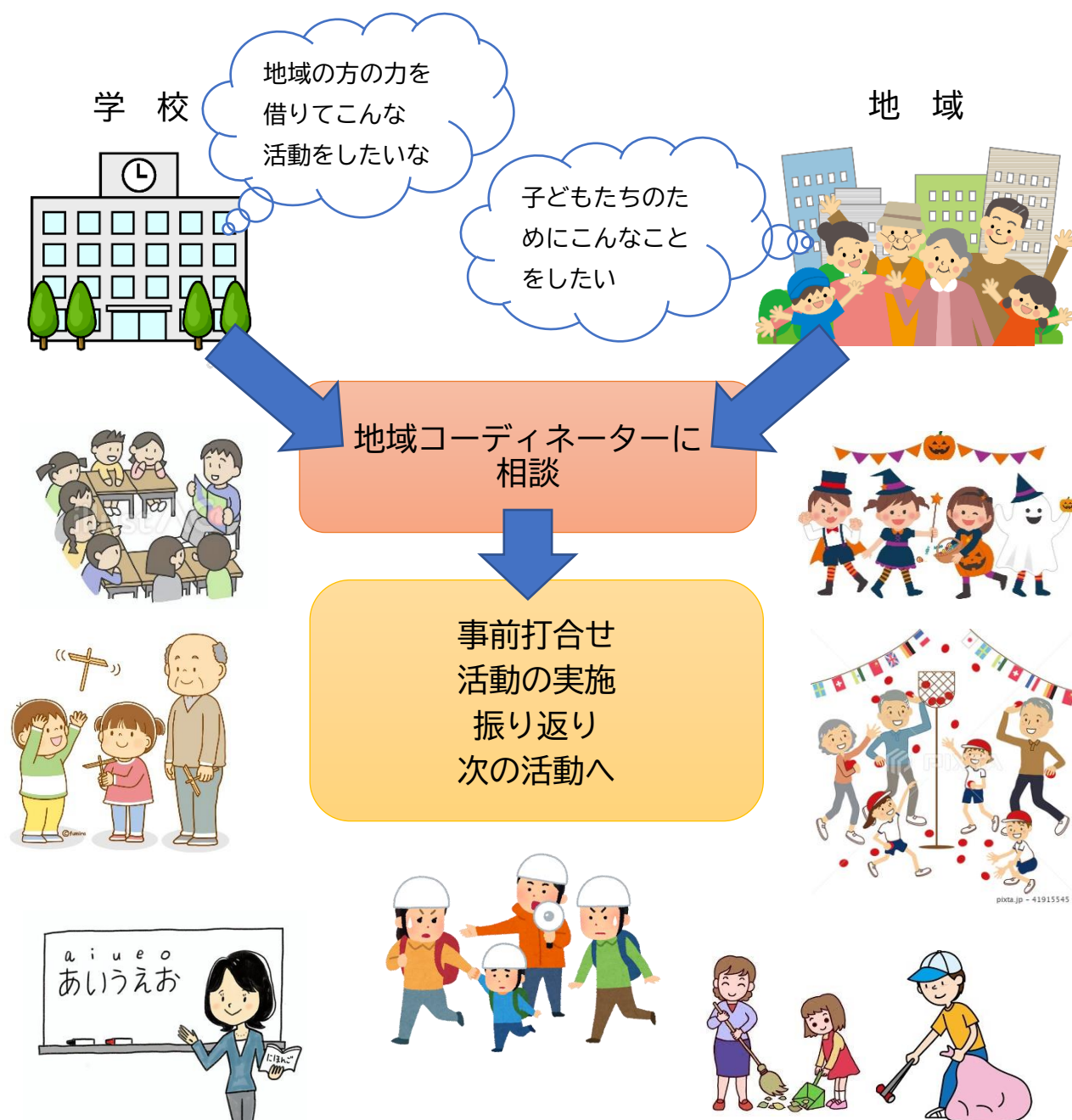


【地域学校協働活動を始めましょう】

もし、地域学校協働活動に参加してみようと思った場合は、「東っ子サポーター」に登録していただくことになります。「東っ子サポーター募集」のチラシにある二次元コードから簡単に登録できます。また、来校した際、登録用紙に必要事項を記入していただいても大丈夫です。登録が完了しますと、名札をお渡ししますので、活動の際につけてください。

なお、活動するうえで、気を付けてほしいこともありますので、確認してから活動に参加していただきます。活動内容や日程については、地域コーディネーターが中心となって学校や地域と調整して決めていきます。

活 動 の 流 れ



活動に参加する際の約束ごと



【子どもたちとのよりよい接し方について】

- ◆どの子にも公平に接し、子どもの声にしっかりと耳を傾けましょう
- ◆おおらかな気持ちで接し、子どもたちの良いところをほめましょう
- ◆丁寧な言葉づかいで、はっきり、ゆっくりと話すようにしましょう

【守らなければならないルールについて】

- ①名札の着用や職員室への声かけなど、学校のルールを事前に確認し、ルールはしっかりと守りましょう。
- ②活動の中で子どもや教職員の個人情報にふれることがあります。子どもや教職員一人一人を大切にするため、自分の家族や友人などにも、活動中に知り得た情報は、どんな小さなことであっても話をしてはいけません。
- ③学校や教職員、他のボランティアの批判などは、子どもの前でも学校以外でも絶対に話さないようにしましょう。気がついたこと、気になることは気軽に地域コーディネーターや学校の教職員（教頭または主幹教諭）に伝えましょう。
- ④決められた日課にそって学校の授業は行われます。指定された時間に指定された場所に集まっておくことに加え、決められた時間内に終了することも心がけてください。



よりよい活動のために



◆相談しましょう

子どもたちとの関わりの中で、困ったこと、わからないことがあるときは、気軽にコーディネーターや教職員（教頭または主幹教諭）に相談しましょう。特に、落ち着きのない子や反抗期の子などとの接し方を教職員に学ぶことによって、子どもたちとよりよい関係をつくることができます。また、相談することで、お互いのコミュニケーションも図れます。

◆事前の打ち合わせ、振り返りを大切に

事前の打ち合わせには時間を要しますが、効果的な行動を行うためには欠かせません。学習の流れ、ボランティアの出番（どこで、なにを、どんなふうに、何分ぐらい）などについて話し合しましょう。また、活動後の振り返りも大切です。気づいたことを教職員やボランティア同士で共有することによって、次の活動がさらに充実します。



◆疑問や課題を解決したりするために

ボランティアを続けていくうえで、疑問や課題がいくつも浮かびます。解決方法の1つとして、各種研修会に参加するのもよいでしょう。愛知県や知立市などが主催する講演会、フォーラムなどに参加したり、同じ立場の人と交流したりすることで、新しい知識や技能を得ることができ、今後の活動に活かすことができます。